

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.56 2011/8/5

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

エゾシカの革を使ってみるプロジェクト

日本では昔からシカ革を使っていました。一番有名なのは甲州印伝ですね。シカ革の表面を削り、漆で模様をつけた小物入れなどです。400年以上昔から使われていたシカ革グッズなのですが、現代、革そのものは日本のシカは使われておらず、中国のキョンという種類のシカの革を使っています。なんでも、日本の革は品質が良くないので高級品にはならない。。。そうです。



これをなんとかしたいな~と思って、この間プロジェクト化してみたところです。詳しくはまたブログかどこかで。。。

何で品質が悪いの？

キョンとシカの一番の違いは、飼育されているか野生か！です。肉は野生のものの方がずっと美味しいと思いますが、革に関しては飼育されているものかいいみたいです。皮が革になるまえには、皮を剥いでナメスという作業が必要です。ナメサレル前の皮のことを原皮というのですが、野生のシカの原皮は銃の跡がついていたり、森から出るときに擦り傷がついたりして、スタートの段階で品質が悪いんですね。まずは、ここをなんとかクリアできるようにちょっと動いてみます。このあたりも詳しくはブログで(笑)。



ぼっとみ、綺麗なんですけど擦り傷いっぱいのエゾシカ革

※なお、シカシャツ義捐金:前回までで52,000円越えました!(14T含む)ありがとうございます。
あ、HANAKO 999号に出ました!!(買って見てみて。いちおう、コピーもって来てますが…)